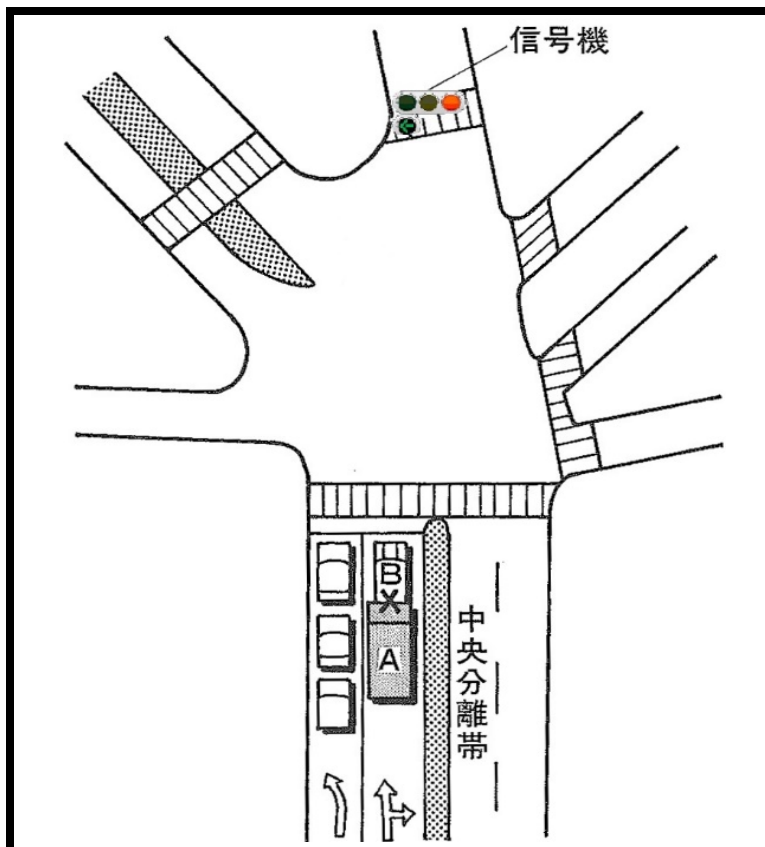


■事故の概況



事故類型：追突
発生日時：夜間
当事者A：大型貨物車
（ショベルカー積載）
20歳代 男
当事者B：普通貨物車（年齢
性
別不明）

■ 事故の概要

左折信号が先に表示される信号機が設置されている片側2車線の交差点で、AはB車に続いて信号待ちをしていました。その後、左側車線に並んで停止していた左折車が発進したので、自分の車線も青信号に変わったものと思い込み、前方の信号を確認しないまま発進したところ、前車Bの後部に衝突しました。この信号機は、左折車線の信号が先に青信号に変わり、その後直線車線が青に変わるという時差式信号機でした。

■ 事故から学ぶ

信号機のある交差点では、信号の表示を必ず自分の目で確認してください。他の車線の信号が青信号であっても、自車線の信号が青信号であるとは限りません。

運転への慣れや過信は注意力を低下させ、危険認知の遅れや欠如となって交通事故を誘発しやすくなるものです。ハンドルを握ったら常に緊張感を持続しながら運転しましょう。

交差点では、信号が変わってもすぐに発進せず、周りの安全を確認してから発進するぐらいの余裕が欲しいものです。